

大学院生との交流会 議事録 H31.2.9. 11:10~11:55

出席者（教員）平野、栗原、長鶴、山岸、小野、田中

（前期院生）大河原、五反田、西川、間宮、宮、上富、日高

（後期院生）野末、加藤

*大学院に入学して、1年もしくは2年、それ以上在籍し、教育・研究環境や施設・設備（院生室の情報機器・インターネット環境含む）で何か要望はあるか。

- ✓ 院生室2の水道が流れるときに音が大きい。一度、確認してもらったが、確認のときには音がでなかった。修理できていない状況。
- ✓ 暖房の音が大きいので、調整ができないか。
- ✓ 以前は、院生室のイスの不具合があったが、どうか？現在使用している分は特に不具合はない。もしあれば、連絡をもらう。
- ✓ 院生室自体はカードキーで入室できるが、教育研究棟には入れない。年末年始で特に、論文を書く必要があるときだけでも、教育研究棟の入り口のカードキーを借りることができないか。
- ✓ 10 時以降、残っていたら守衛さんに届け出が必要といわれた。→ 院生に関しては、届け出はいらないということになったが、事務や守衛の交代などで情報が徹底していない可能性がある。→ 事務に連絡する。
- ✓ 図書館の雑誌で持ち出し禁のものでも、学内の教員（院生）は借りられる。もしくは図書館の事務が使用するコピー機が利用できる。院生はコピー機でコピーをする際に費用がかかる。院生でも利用できるコピー機の設置（院生室にもコピーカードは貸与しているので、学内ではコピー可）を検討してもらいたい。
- ✓ 図書館のコピー機が古すぎる。新しいものに交換できないのか？
- ✓ 学外からの文献検索できるが周知が徹底されていない（最近まで知らなかった）。

*学生生活・学業（講義、演習、指導）に関して、要望はありますか。

- ✓ 講義、演習、指導の時間に関しては、集中や夜間などに調整してもらっているので、特に問題なく、過ごせている。
- ✓ 研究にかかる費用に関して、基本、自己負担となっている。ボイスレコーダーは院生用のものがある。ただし、現在、ボイスレコーダーも話したものを言葉に置き換えてくれるソフト機能がついたものがあるので、そういうものの購入も検討してもらいたい。←この件は院生の希望だったのでしょうか？教員からの提案では？デブ起こしは時間がかかるが、そのデメリットは院生からはでてたかったと思いました。データの吟味にもつながるというご意見もありました。
- ✓ 長期履修制度に関して途中から長期履修制度となる。もしくは、長期履修制度期間終了

後の履修に関して費用が高くなるので、それに関してオリエンテーション時に説明を
してもらいたい。宮崎大学は、前期課程でも4年間の長期履修がある。→長期履修制度
についての検討が必要。

- ✓ 育児休暇中の履修を認めてもらいたい。→ 大学側だけでなく、勤務先の施設内の問題
もある（今後の課題）。

*大学院で学んだことを職場にどのように伝えているのか。また、本学での学びはどうだっ
たか（発表会発表者）。

- ✓ 大学院は自分の疑問を教えてもらうところと最初思っていた。そうではなく、自分の疑
問、興味に関して、自分がまず学びを進めていって、困難なことなどがあった場合にア
ドバイスをもらい、それをもとにまた進んでいくもので、大変さもあったが、得る物も
あったが大きかったので、職場の人達にはそのように伝え、自分で学びを深めたい場合
は大学院の進学をするといいとすすめている。
- ✓ 今回、研究で行った内容に関しては、病棟にも伝えている。また、今回発表したスライ
ドなどを用いて、伝えたいとも思っている。
- ✓ 発表者の施設の管理者とスタッフの発表会への参加があり、発表についてポジティブ
な感想をいただいた。
- ✓ 外部から入学して、ここの大学が大切にしているナイチンゲール看護論や科学的看護
論ははじめて学ぶ内容もあった。先生方が噛み砕いて教えてくださったこと、自分でも
分からないなりに努力をして、理解しようとした。それでも、分からずもがいている際
には先生がアドバイスをくれ、それらを参考に少しずつではあるが理解できたことな
ど、外部からの入学だったが、先生方がウエルカムな態度で接してもらえたので、ここ
で学べたことがよかったと思っている。

今、本学の大学院生は、数が少ないので、どうしても指導教員と院生との関係となっていま
う。院生同志お互いが意見交換を行い、交流することも大切

→ 同じ領域で、一緒に修論を作成したことで、テーマも似ていたのも、各自の結果につい
て意見交換できとてもよかった。作成中の進行状況で、自分の進行状況の遅れを実感し、早
く進めないといけないと思ったり、大変なこともあったりしたが、互いに頑張っていると思
えて乗り越えられたと思っている。

2020 年度 大学院満足度調査

自由記載抜粋

カリキュラムの良い点を挙げてください。

理論をしっかりと学習できる

大学院で学習したい分野が満遍なくあった事

授業科目が多く、選択肢の幅が広がり研究の視点に活かせるところ

看護実践上の問題を科学的に分析する論理能力を習得できるよう編成されていること。

選択科目が明確である

シラバスについてよい点を挙げてください。

専門科目以外の科目の選択科目が幅広かったこと

具体的に何回までにどのようなことをするかが明示されている。

分野や授業科目ごとに授業の目的や概要がまとめられており選択の際に分かりやすかった。

授業の目的、内容、参考図書が示されている。

学生便覧についてよい点と改善すべき点を挙げてください。

学位論文提出等要領1(3)中間報告書について、中間報告とは何をどの時点で行うものなのか示してほしいです。研究結果報告でよいのか、考察まで含むのか、具体的な内容を明記してほしい。様式には、「研究の状況」とのみ記載されています。

駐車場をどのように使用するかなどが書かれていない。例えば、夜 21 時半になると正門がしまる、学生と教員用の駐車場など。卒業生または教員以外の院生は分からないと思う。

履修登録が分かりやすかった

大学院の概要、履修登録の方法、図書館の利用について、わかりやすかったです。学内 Web について、Active Academy についても学生便覧に含めて記載されていると、学生は使いやすいと思いました。

授業についてよい点をあげてください。

指導教授が丁寧に研究指導をしてくださいます。

専門性が高い授業内容でディスカッションが活発だったこと。

結果的に少人数となったので、ディスカッションが深まった。

経験豊かな先生方から、直接授業が受けられる事。時間の融通を聞いていただいたことで、仕事をしながらでも大学院に通学する事が出来ていること。

プレゼンや討議が多く、様々な側面から自己の研究課題を捉えることができる。

討議を通して知見が深まる

授業について改善すべき点をあげてください。

今後は、teams などを使用した講義や授業があると県外からの大学院入学生も助かると思います。
理由は、私事です大学院での学びを考えたときに育児や家事、仕事をしながら、しかも自身の母校ではない学校の大学院であることは、少しハードルがありました。
大学自体の教育方針も違う、場所・時間などの調整などの調整にも苦労しました。
大学院を選ぶ上では、どんな研究がしたいのか、どんな先生の指導をうけたいのかも選択肢に入ります。もちろん私自身はそこを第一に考えて、入学いたしました。しかし、学業を続ける上でのサポート環境があるタイミングも考えました。
学部生とは違い、仕事をしながら育児をしながら、いろんな環境で学ぶ方がいる中で、自宅でも時間を有効にして学べる機会があると良いなと思いました。

論文作成・研究についてよい点を挙げてください。

自分自身で模索する力が向上する(3)
研究内容について相談できている。
指導教授が丁寧に研究指導をしてくださいます。いつも心強いです。
指導教授より全く初歩の段階から確実に論文作成の順を辿ることができた
様々な先生が協力して下さり、多くの視点から研究の妥当性などを検討できたこと。
経験豊かな先生方から、指導していただき、論文作成のノウハウを学び質の高い研究を目指せること。
主専攻の授業を中心に、研究方法論を学ぶことができ、論述の思考を習得することができる。研究計画発表会により、多くの教員から助言を受けることができる。

論文作成・研究について改善すべき点を挙げてください。

できれば、もっと他の院生とディスカッションできればうれしいです。
研究費がないため、HDD やレコーダー、交通費などを自費で賄わなければならない。少なからずインタビューやアンケート調査にもお金がかかるので、そこを補助していただけると助かると思う。
論文審査基準を開示していただきたい(準備が可能となる)

大学院での学生生活、院生室、施設設備に関して良い点を挙げてください。

十分な広さがある(3)
teams を活用することで、学外でも利用しやすくなった。
院生室は十分な広さがあります。図書館も充実していると思います。
空調関係や PC 周辺機器など大きな問題なく使用することができました。
院生室が改善されたことによって、他学年との交流が得られた。
専用のパソコン、机、コピー機、文献検索、図書館での文献取り寄せ、静かな環境
各自、パソコンとデスクが用意されていること。

コロナ禍であまり来校できていないので、十分把握していない。

机や棚が利用可能に準備いただいている

大学院での学生生活、院生室、施設設備に関して改善すべき点を挙げてください。

室内の床清掃について、院生自身が行うのであれば、その周知が必要(3)

現在、通学が制限されているので、図書館の書籍の郵送貸出を希望します。返却だけでなく、貸し出しも郵送で実施して頂けると助かります。

コロナの影響で学内作業が出来ないことがあるのではないかと不安になりました。そのような際の対処方法があると良いかと思いました。図書の借用期間を学内教員同様の期間に設定してもらうなど。

他学年との交流がほとんどない。特に1年生は授業の事や、修論のことなど様々分からないことが多いと思う。交流を図る機会があると良いと思った。

掃除道具が欲しい、コピー機の紙やトナーが無くなった時などどうしたらよいかコピー機の近くを書いておいてほしい

院生室の掃除道具がほしいです(クイックルワイパー、除菌クロスなど)。

学外から学生向けの common2 へのアクセスが非常に困難だった。

祝日・休日の利用(自由ではないと聞いている)